

5th Anniversary

CONTENTS

HAPPY NEWS 2008	2
入選作品発表	
HAPPY NEWS 2008を振り返って	10
私にとっての新聞	11
小山薫堂さん 押切もえさん	
インタビュー 櫻井翔さん	12

しあわせを届ける新聞で HAPPYに!

HAPPY NEWS 2008

4月6日は「新聞をヨム日」。日本新聞協会はこの日に合わせて「HAPPY NEWS 2008」を発表します。新聞を読んだところがあたたかくなった、勇気がふっとわいてきたりするような記事を切り抜き、その理由を添えて応募するHAPPY NEWSキャンペーンも今年で5回目を迎えました。回を重ねるごとに「しあわせ」の数も増え、今回は過去最多の1万749件のHAPPY NEWS記事とコメントが集まりました。そしてこのたび、2008年度のHAPPY NEWS計19件が決まりました。その中大賞に選ばれたのは、「形見のランドセル『僕が背負う』の記事にコメントを寄せてくれた川野智子さん(大分県)。

HAPPY新聞では、19件の作品をご紹介します。この新聞を読んだみなさんにも「しあわせ」が訪れますように。

「HAPPY NEWS PERSON 特別賞」に朝原宣治さんが選ばれました。

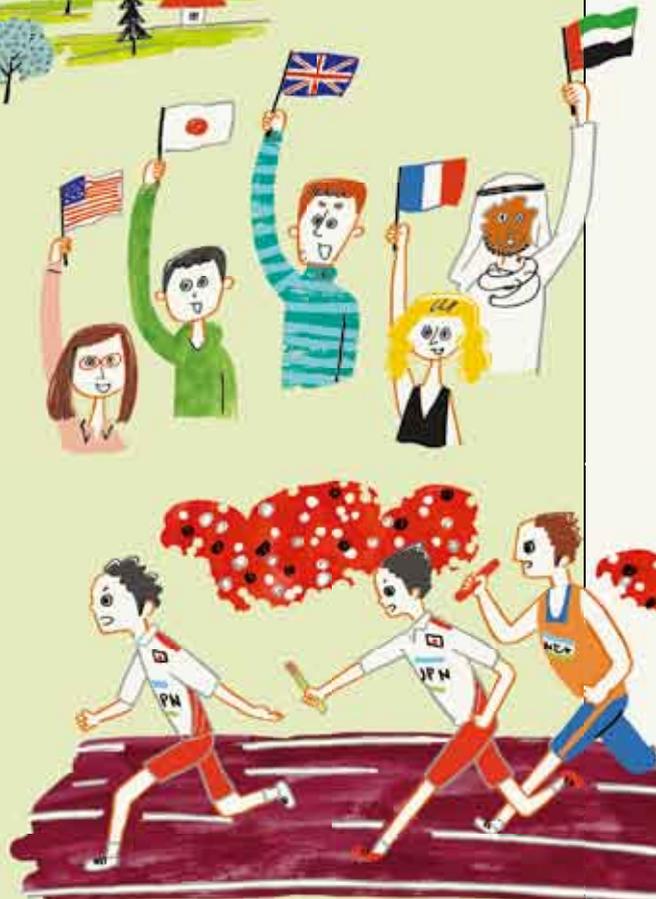


2008年は北京五輪の年。活躍を報じた記事とたくさんコメントが寄せられました。その中から、男子400リレーで銅メダルに輝いた朝原宣治さんに、多くの人に感動を与えた人物として「HAPPY NEWS PERSON 特別賞」を贈りました。

「喜のコメント」
受賞を大変光栄に思っております。これからの私の人生における大きなテーマはまさしく、人をしあわせな気持ちにすることです。今回、身近な人ももちろんですが、新聞記事を通して多くの人をしあわせにしたということであれば、これほどの喜びはありません。これからもそんな人であり続けられるように努力していきたいと思います。

「PROFILE」

1972年生まれ。同志社大学卒業後、大阪ガスに勤務。100以自己記録10秒02は日本歴代2位。五輪は96年から4回連続出場。08年北京で銅メダル獲得。同年9月、現役引退。



HAPPY NEWS 小学生 小学生から届いた HAPPY NEWSです。



産んでくれて ありがとう

私はいつもお母さんとケンカばかりしてました。しかし、この記事で松永さんが言うように、二人で生まれてきたお金の大切さ、お母さんが私のため

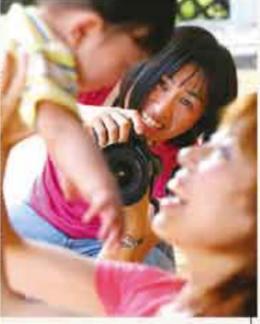
に、お母さんが私のためを思っていることに気づきました。これから、お母さんへ、いつもありがとうを伝えていきたいです。

▼中日新聞 2008年9月22日付朝刊を讀んで



撮り続けたい命の誕生

松永 知恵美さん (増補)



まつなが・ちえみ 1965年9月、大野町生まれ。旭大薬科卒業。結婚、出産を経て、1990年からカメラマンのアシスタントとなる。2004年写真文化フェスティバルで講演。現在は結婚写真でカメラマンのアルバイトを続ける。

「命の誕生」を撮り続けたい。それは、私にとっての命の誕生だからです。生まれてから死ぬまで、命の誕生を撮り続けたい。それは、私にとっての命の誕生だからです。

藤野先生！ 私だって負けたくないよ

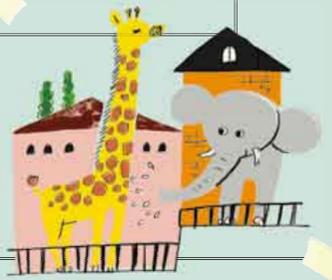
私は一度、藤野高明先生の授業を受けてみたかったです。私は小学5年生で、盲学校に通学して、点字を勉強しています。指は、大切な目代わりだと思っています。先生の本音の指を使いたいです。でも、比べられないです。私たちが、視覚障害者に最初の一文字が、文字の指では、また、読まないと。時間がかかりました。母から、一人の3倍努力しなさいと、いつも言われています。藤野先生の努力は、想像ができません。強いて努力され、そして、いろいろな思い出が、2月20日付朝刊を讀んで

益川流 日本語講演

「アイキャンノットスピークイングリッシュ」のオーディオブック。聴衆70人、笑い誘う。聴衆70人、笑い誘う。聴衆70人、笑い誘う。

「アイキャンノットスピークイングリッシュ」

オーディオブック。聴衆70人、笑い誘う。聴衆70人、笑い誘う。聴衆70人、笑い誘う。



大阪市立盲学校 教諭 藤野高明さん(70)

学ぶ喜び 次世代に

不発弾が奪った夢 あきらめず。点字が拓く。学ぶ喜び 次世代に。不発弾が奪った夢 あきらめず。点字が拓く。

原田高・事故米・景気の悪化など、暗いニュースが多かった2008年。洞爺湖サミットや北京五輪も盛大に開催されたが、私たちが日本人を最もハッピーにしてくれたのは、ノーベル賞を受賞された4人の先生方ではないだろうか。10月の発表以来、学校でも話題で持ちきり。私も素朴な喜びを感じた。でも、私には残念なことがある。残念なことがある。残念なことがある。

ノーベル賞の先生も宿題さぼってたの!?! 小長谷明華さん 10歳(東京都)



「大丈夫」が 懐かしい

早坂清信さん 29歳(宮城県) 意識不明の妹を看取る中で、ふっきほつ女性米原さんを励ました松崎さんの口癖「大丈夫」が懐かしい。懐かしい。懐かしい。



手紙っていいよね

神奈川・藤沢市立明治小学校 松下義一さん(59) 手紙づくりの授業。先生、見てと子どもたちが松下先生の周りに集まってきた。手紙づくりの授業。



手紙づくりの授業。先生、見てと子どもたちが松下先生の周りに集まってきた。手紙づくりの授業。

「あのねちゃん」は今も宝物

金子陽子さん 48歳(神奈川県) 子どもたちのまっすぐな柔らかな感性に、あつもののがみ上げてくる。あつもののがみ上げてくる。



縁

ねじり花 耐えて今年も咲きました。縁。耐えて今年も咲きました。



私の好きな言葉にセレンディピティーという言葉があります。予期していないなかに出会う、その偶然が幸せをもたらすという意味です。かまじししと記事がきっかけで何かを命が変わたりたりする。映画『おくりびと』で、本木雅弘さんが演じる主人公・大悟が納棺師になるのも、新聞に載った旅のお手伝い」という求人広告がきっかけです。

読者側からすると、新聞の一面は今のままでいいですが、ほかの面は同じ段組をしないでもいいのでは。小学生が読んだ文字の大きいページがあったり、切り抜きやすいレイアウトにして、記事を読みたいところだけ読むという工夫がほしい。紙面に余白がもっとあるといいです。読者も多読するから、読んでほしい記事のバックグラウンドを薄く赤い色にするとか。新聞の魂というか、心の鼓動が伝わっているような記事の色を表現して欲しいです。

カラーを多用するから、読んでほしい記事のバックグラウンドを薄く赤い色にするとか。新聞の魂というか、心の鼓動が伝わっているような記事の色を表現して欲しいです。読者も多読するから、読んでほしい記事のバックグラウンドを薄く赤い色にするとか。新聞の魂というか、心の鼓動が伝わっているような記事の色を表現して欲しいです。

新聞はセレンディピティーあふれるメディアだと思う



押切もえさん



小山薫堂さん



新聞はニュースを掘り下げてじっくり読めるところがいい

新聞は、ニュース番組のコンテナーを始めたのがきっかけで、2年前自宅を取り始めました。モデルの仕事をしながら、フリーランスのライターとして活動しています。最近、新聞が読みたいという人が増えています。その理由、どうして新聞が読みたいのか、掘り下げて読むところがいいと思うからです。

最近、一面に記事のタイトルが載って、レイアウトも工夫されています。文字も大きくなり、余白も多くなって読みやすくなりました。一面の情報は必ず読んでいますが、こまめに読むという習慣がなくなっています。最近、新聞が読みたいという人が増えています。その理由、どうして新聞が読みたいのか、掘り下げて読むところがいいと思うからです。

「あれ」という新しい写真が1面にあっても新聞はいいなと思います。消費者として知っている方がいい値上げのニュースとか、最近地球環境問題も気になると思います。新聞には本音がたくさん



私にとっての新聞

大活躍中の2人に聞きました

読者側からすると、新聞の一面は今のままでいいですが、ほかの面は同じ段組をしないでもいいのでは。小学生が読んだ文字の大きいページがあったり、切り抜きやすいレイアウトにして、記事を読みたいところだけ読むという工夫がほしい。紙面に余白がもっとあるといいです。読者も多読するから、読んでほしい記事のバックグラウンドを薄く赤い色にするとか。新聞の魂というか、心の鼓動が伝わっているような記事の色を表現して欲しいです。

過去のHAPPY NEWS大賞

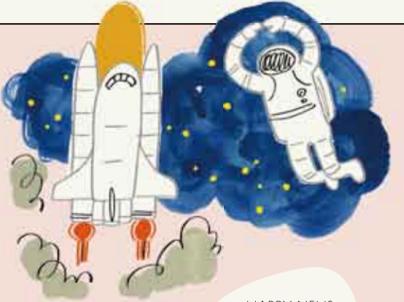
2004年度 関貴見子さん (福井県・62歳) 「財布盗 犯人はカラス」 (福井新聞 2004/11/21 朝刊)

2005年度 石田修さん (石川県・66歳) 「ごみ出しまかせて」 (北陸中日新聞 2005/12/2 夕刊)

2006年度 柏木克仁さん (神奈川県・19歳) 「命を救い完走」 (神奈川新聞 2007/02/20 朝刊)

2007年度 多久和典さん (兵庫県・69歳) 「父の背追い消防士に」 (毎日新聞 2008/01/17 朝刊)

※年齢・居住地域は受賞当時。



HAPPY NEWS 特別賞

北京オリンピック 男子陸上 400メートルリレー 銅メダリスト

朝原宣治さん

2008年度の新聞報道により多くの人を合わせた気持に、感動や勇気を与えた著名人として表彰

HAPPY NEWS 特別賞

名城大学附属高等学校 大阪府立香里丘高等学校

数年にわたり学校の授業や宿題などで「HAPPY NEWS」を取り上げ、熱心に応募していただいた学校として表彰

HAPPY NEWS 特別賞

2004年度 関貴見子さん (福井県・62歳) 「財布盗 犯人はカラス」 (福井新聞 2004/11/21 朝刊)

2005年度 石田修さん (石川県・66歳) 「ごみ出しまかせて」 (北陸中日新聞 2005/12/2 夕刊)

2006年度 柏木克仁さん (神奈川県・19歳) 「命を救い完走」 (神奈川新聞 2007/02/20 朝刊)

2007年度 多久和典さん (兵庫県・69歳) 「父の背追い消防士に」 (毎日新聞 2008/01/17 朝刊)

※年齢・居住地域は受賞当時。

HAPPY NEWS はこちらでもどうぞ!

<http://www.readme-press.com>

HAPPY NEWS 検索



HAPPY NEWS 2008を振り返って

HAPPY NEWS 2008 こうして実施しました

たくさんのご応募ありがとうございました

【応募要項】 ①2008年度の新聞を読んでHAPPYになった記事の切り抜きを同封のうえ、②記事の掲載日、掲載紙名、朝・夕刊の別、③HAPPYになった理由(400字以内)、④郵便番号、⑤住所、⑥氏名、⑦年齢、⑧性別、⑨職業(学校、学年)、⑩電話番号を書いて、郵送もしくはインターネットで応募。インターネットの場合は、①の切り抜きを別途郵送。

【応募締め切り】 第1回締め切り：2008年9月30日(火) 第2回締め切り：2009年2月20日(金) ※いずれも当日消印有効

【応募対象】 2008年4月1日から2009年2月20日の新聞に掲載された記事(新聞広告や写真記事を除く)。※2009年2月21日～3月のニュースに関しては、当該月でも応募を受け付け。

【審査・表彰】 日本新聞協会が応募された記事とコメントを審査し、10件の「HAPPY NEWS 2008」と、学生からの応募を対象に「HAPPY NEWS小学生(以下を含む)」「HAPPY NEWS中学生」「HAPPY NEWS高校生以上の学生」を各3年選定。さらに、その中から「HAPPY NEWS大賞」を1件選定。

【審査・表彰】 日本新聞協会が応募された記事とコメントを審査し、10件の「HAPPY NEWS 2008」と、学生からの応募を対象に「HAPPY NEWS小学生(以下を含む)」「HAPPY NEWS中学生」「HAPPY NEWS高校生以上の学生」を各3年選定。さらに、その中から「HAPPY NEWS大賞」を1件選定。

HAPPY NEWS 2008 応募概況

5回目となった「HAPPY NEWS 2008」キャンペーンには、過去最多の10,749件の応募がありました。日本国内だけでなく、海外を含む全国各地の4歳から101歳までの幅広い年齢の方々から、多くのしあわせな気分になった記事の切り抜きとコメントが寄せられました。

寄せられたHAPPYな記事は、北京オリンピックをはじめとするスポーツのニュース、動物の話、雇用や食の安全などの社会的な話題、環境、米大統領選挙など2008年を振り返るニュースとともに、善行もや地域の話も数多くありました。「一瞬を照らす」ような小さい記事でも、読者の心をあたたくし、勇気や希望を与えた記事もたくさん応募いただきました。

審査は、新聞・通信社の委員で構成する審査委員会が2次にわたって行い、「HAPPY NEWS 2008」を10件、学生からの応募を対象とした「HAPPY NEWS小学生/中学生/高校生以上の学生」の各部門から3件計9件の記事とコメントをそれぞれ選び、その中から1件を「HAPPY NEWS大賞」に決定しました。

受賞した作品はいずれも記事とコメントの一体感があり、読む人を感動させる作品でしたが、大賞に選ばれた作品(2ページ参照)は、自身の思い出と重ね合わせ、記事から兄弟を結ぶさすの強さへの感動が伝わってくるなど記事との一体感があるものとして高く評価されました。

キャンペーン入選者一覧

応募者氏名	年齢	居住地	応募記事紙名	掲載日	朝夕刊	見出し
◇HAPPY NEWS 大賞						
川野 智子さん	53	大分県	大分合同新聞	2009/01/12	朝刊	形見のランドセル「僕が背負う」
◇その他のHAPPY NEWS 2008						
阿部 仁さん	26	大阪府	秋田魁新報	2008/05/28	夕刊	贈った四つ葉1万本
磯平 満子さん	53	宮城県	毎日新聞	2008/12/12	朝刊	笑顔届ける駐在さん
金子 陽子さん	48	神奈川県	朝日新聞	2009/01/31	夕刊	手紙っていいよね
佐藤 美智子さん	41	青森県	デーリー東北新聞	2008/10/22	朝刊	あなたはこうして産まれた
長島 幸二さん	76	神奈川県	神奈川新聞	2009/02/22	朝刊	「特技」で人助け3年
橋本 晶子さん	53	北海道	北海道新聞	2008/09/29	朝刊	社員に幸せ 企業が追求
浜本 典子さん	41	岡山県	山陽新聞	2008/12/02	朝刊	夜空に「笑顔」
早坂 清信さん	29	宮城県	朝日新聞	2008/08/10	朝刊	ねじり花 耐えて今年も咲きました
益子 悦子さん	41	神奈川県	神奈川新聞	2009/02/12	朝刊	障害児乗せて ドライブ30年
◇HAPPY NEWS 小学生						
伊藤 紗希さん	12	岐阜県	中日新聞	2008/09/22	朝刊	振り続けたい命の誕生
小長谷 萌華さん	10	東京都	読売新聞	2008/12/09	朝刊	益川流 日本語講演
村松 明日香さん	11	滋賀県	毎日新聞	2009/01/20	朝刊	学ぶ喜び 次世代に
◇HAPPY NEWS 中学生						
倉持 紗月さん	14	埼玉県	朝日新聞	2008/08/23	朝刊	後遺症克服 笑顔の舞
中川 愛望さん	14	広島県	中国新聞	2008/11/30	朝刊	善意の潜水 親指つなぐ
森本 聖也さん	15	栃木県	読売新聞	2008/08/15	朝刊	授業で示す生きる力
◇HAPPY NEWS 高校生						
鬼武 和南さん	17	東京都	朝日新聞	2008/08/29	朝刊	熟年クルー生き生き
林 里香さん	17	広島県	愛媛新聞	2008/12/28	朝刊	みんなの絆 空から確認
室谷 綾音さん	16	大阪府	産経新聞	2009/01/14	朝刊	鉛筆から学んだ感謝

※各賞とも氏名50音順。年齢・居住地域は2009年4月6日現在。

表彰式プレゼンター 眞鍋かをりさん

HAPPY NEWS 2008表彰式のプレゼンターは、今年で3回目となる「HAPPY NEWS大賞」を、新聞報道を通して紹介されたことにより、多くのみなさんにHAPPYな気持ちをもたらしたHAPPY NEWS PERSONなど、受賞者の方々に賞状と表彰盾を贈呈します。



立大学卒業。趣味はパン作り、料理「おもしろいキネイ!!テレビ」などタネのテレビ番組で活躍中。

HAPPY NEWS BOOKS

HAPPY NEWSが毎年、本になっているのを存ぞうです。前年度のキャンペーン入選作品や、皆さんの寄せられたしあわせな気分になった記事とその理由のコメントを集めた本が、全国の書店で売られています。



今年の夏も、今回紹介した19の入選作品のほか、2008年度版のハッピーなニュースと、それを読んだしあわせな気分になったコメントをつめてくださった本が発表されます。新聞がほんだしあわせなニュースを、ぜひお手元で読みたいと思います。

▶心がほかほかするニュース HAPPY NEWS 2007(文藝春秋) 152ページ 1,000円(税込み)



INTERVIEW

櫻井 翔さん

新聞で偶然見つけた情報が、
とても価値があったりするんです



—新聞は毎日お読みになりますか。
—「一般紙2紙とスポーツ紙を毎日読んでます。仕事前のメイク中とかの、スタンプバイしている時間に30〜40分くらいかけて読んでますね。2紙の1面を見くらべて読んでから、それから1紙ずつサーッと読んでいく感じですね。
—えっ!? 2紙の1面を見くらべるんですか。
—はい。3年前から日本テレビの「NEWS ZERO

—「NEWS ZERO」に出させてもらっているんですけど、2007年の参院選でプレゼンターをやらせていただいたときに、政治部の記者の方に教えていただいたんです。一方で大きく扱っている記事も、もう一方では小さい扱っていたりしますし、新聞各社によって論調も違います。だから自分の考えが一方に偏らないように、自分の中のバランスを取るには、最低限、2紙を見くらべて読むことが大事だと。

それ以来の習慣なんです。—「NEWS ZERO」でキャスターを務めることで新聞への見方は変わりましたか。
—そうですね。それまでは「目を通す」感じだったのが、「こまかく読む」ようになったりしましたから。
—ニュースキャスターの仕事というのは、やりがいがありますか。
—はい。責任も感じますね。お話をいただいたのが24歳のときで、こんな青二

才の僕がニュースキャスターをしていいものかと、最初は躊躇しました。でもいまは、僕が「NEWS ZERO」のあの席に座っていることによって、日々のニュースに若い人の意識が向くきっかけになるのから、すごく大きな意味があるなと思っています。実は、僕自身、ニュースを強く意識したのは、あの9・11の同時多発テロがきっかけだったんです。いったい何が起きているのか、

なぜこんなことが起きたのか、何も分りませんが、た。世界情勢や民族紛争について、自分がいかに不勉強かというのを思い知らされたんです。
—同時多発テロは櫻井さんが大学生のころですか。
—はい。大学2年のころです。それ以来、すすんで読むようになったんです。分らない言葉に出合っても、読み続けるうちにいつか分かるだろうって気持ちで読んでいましたね。
—新聞は「発見」が詰まっている
—新聞だけが持つよさとは何だと思えますか。
—たとえばネットは、自分が欲しい情報を探すにはとても便利ですよ。自分が知りたいことを深く知るといふ面では、ほかにもいろんなメディアがあると

思います。でも新聞は、紙面を開いてまた見つけた情報がある価値があるんですよ。知るところってなかなか情報に偶然接すること、自分の世界が広がること、それが新聞の素晴らしさ。それが新聞の素晴らしいところだと思えます。何て言うんだろう……つまり、新聞には「発見」がたっぷり詰まっています。
—確かにそうですね。それから新聞って、小さなノンフィクションを読んでいるような気持ちになる記事もたくさんありますよね。人間にスポットを当てた記事なんか、ちょっと心があたたかくなって、ときどき感動してしまいます。

—記事を読んで泣いたりすることも。
—いや、涙したことはあまりないです(笑)。
—もしい櫻井さんが新聞社の経営者だったらとしたら、どんな新聞を出してみたいと思いますか。
—うーん……(と考え込んでから)。「Shingoo(しんごう)」というラッパーの方の「同じ文化の違う世代よりも、違う文化の同じ世代」という言葉が好きなんですけど、世代的横軸で切った新聞があったら面白いと思いますね。20代なら20代のための新聞で、世界中の20代が同じ記事を読むんです。かなり現代的には難しい夢物語だとは思っています。

—でも、それが実現したら文化や宗教の違いで起きる紛争も防げそうですね。そうかもしれませんね。日本って島国ですから、なかなか多様な価値観に触れないと思うんです。僕自身、いろんな価値観に触れたいなと常日ごろ思っているんです。そんな世界の中で、20代だけが読む新聞があったらいいなと思つたんです。
—お話を聞いてみると、櫻井さんは新聞がとても好きみたいですね(笑)。
—何て言うんだろう、原風景、原体験っていつか、朝新聞を広げている親父の姿というのがあって、僕はそのあたり前だと思つてましたから。それが僕の中で親父観なんです。



「PROFILE」
歌手/キャスター。
1982年生まれ。嵐のメンバーとして、映画、テレビ、CMなどで幅広く活躍。2007年からはニュース番組「NEWS ZERO」でキャスターを務めているほか、08年北京オリンピックでは日本テレビのメインキャスターに抜擢されるなど多方面で活動の場を広げている。



春の新聞週間特設サイト
見えないものが観えてくる。

IT企業社長のインタビュー記事はこちら
<http://www.readme-press.com/46/>



ケータイはこちら↑



日本の新聞・通信社 日本新聞協会加盟の新聞・通信社です。同協会ウェブサイト (<http://www.pressnet.or.jp>) から各社のサイトにアクセスできます。

- 東京地方/朝日新聞東京本社/毎日新聞東京本社/読売新聞東京本社/日本経済新聞社/東京新聞/産経新聞東京本社/サンケイスポーツ/夕刊フジ/内外タイムズ社/ジャパントイムズ/報知新聞社/日刊工業新聞社/日刊スポーツ新聞社/日本工業新聞社/スポーツニッポン新聞社/東京スポーツ新聞社/電波新聞社/日本繊維新聞社/日本海事新聞社/水産経済新聞社/東京ニュース通信社/日本農業新聞/共同通信社/時事通信社/エヌビー通信社●大阪地方/朝日新聞大阪本社/毎日新聞大阪本社/読売新聞大阪本社/日本経済新聞大阪本社/産経新聞大阪本社/大阪日刊スポーツ新聞社●北海道地方/北海道新聞社/室蘭民報社/十勝毎日新聞社/釧路新聞社/苫小牧民報社/函館新聞社/北海道日刊スポーツ新聞社/道新スポーツ●東北地方/東奥日報社/陸奥新報社/デーリー東北新聞社/岩手日報社/岩手日日新聞社/河北新報社/秋田魁新報社/北羽新報社/山形新聞社/荘内日報社/米沢新聞社/福島民報社/福島民友新聞社/いわき民報社●関東地方/茨城新聞社/常陽新聞社/下野新聞社/上毛新聞社/桐生タイムズ社/埼玉新聞社/神奈川新聞社/千葉日報社●中部地方/山梨日日新聞社/静岡新聞社/信濃毎日新聞社/長野日報社/南信州新聞社/市民タイムズ/中日新聞社/中部経済新聞社/東愛知新聞社/岐阜新聞社●北陸地方/新潟日報社/北日本新聞社/北国新聞社/中日新聞北陸本社/福井新聞社/日刊県民福井●近畿地方/伊勢新聞社/夕刊三重新聞社/京都新聞社/神戸新聞社/テイリースポーツ社/奈良新聞社/奈良日日新聞社/紀伊民報社/南紀州新聞社●中国地方/山陽新聞社/岡山日日新聞社/中国新聞社/新日本海新聞社/山陰中央新報社/島根日日新聞社/山口新聞社/宇部日報社●四国地方/徳島新聞社/四国新聞社/愛媛新聞社/高知新聞社●九州地方/西日本新聞社/朝日新聞西部本社/毎日新聞西部本社/読売新聞西部本社/佐賀新聞社/長崎新聞社/熊本日日新聞社/大分合同新聞社/宮崎日日新聞社/南日本新聞社/南海日日新聞社/沖縄タイムズ社/琉球新報社/八重山毎日新聞/宮古毎日新聞社